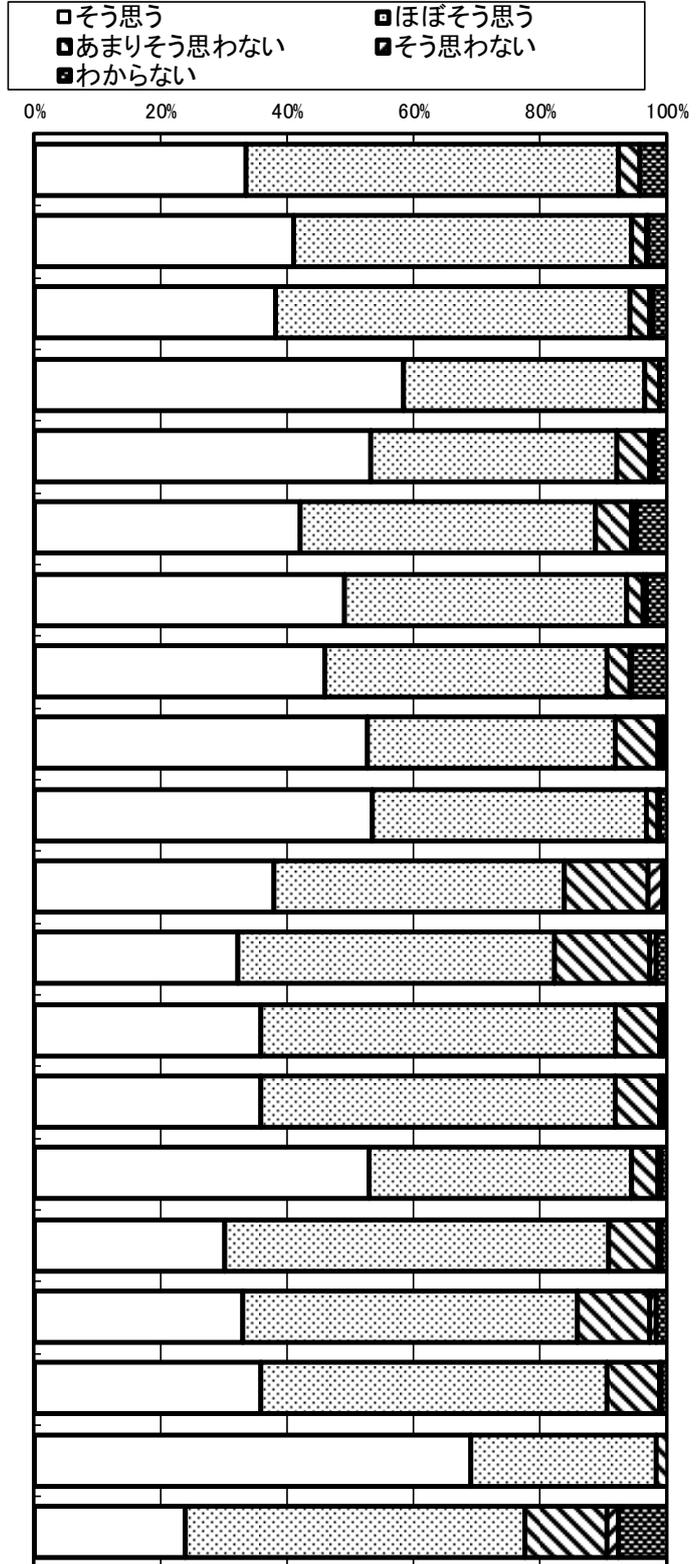


『白根百田小学校教育についてのアンケート』集計結果

平成27年12月24日集計

アンケート対象:	369人(全児童保護者)
回収数:	337人
回収率:	91.3%

質 問 項 目	
学校の教育活動について	1 学校は、保護者に教育目標や教育方針を伝えている。
	2 学校では、特色ある教育活動を進めている。(朝学習、縦割り班活動、体験活動など)
	3 学校は、生命を大切にす心・思いやりの心や社会のルールを守る態度を育てている。
	4 学校は、授業参観や学校開放等で、子どもの様子を見る機会を設けている。
	5 学校、学年・学級からのお便り等で、学校の様子がよくわかる。
	6 先生は、基礎基本の徹底や学習のつまずきなどに積極的に取り組んでいる。
	7 先生は、保護者からの相談に適切に対応してくれる。
	8 先生は、子どもの話をよく聞き、よく理解してくれる。
子どもの様子	1 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。
	2 子どもは、友だちと仲良く生活している。
	3 子どもは、学校のことをよく話す。
	4 子どもは、学習がわかり、基礎学力が身についている。
	5 子どもは、地域や家庭で進んであいさつをしている。
保護者御自身について	1 学校からの文書やお便りなどはよく読んでいる。
	2 授業参観や学校行事には積極的に参加している。
	3 子どもの基本的な生活習慣の確立のために家で指導をしている。
	4 子どものことで気になることがあれば、すぐに学校(担任等)に相談している。
	5 子どもと学校のことなどについてよく会話をしている。
	6 家庭内で「おはよう」「おやすみ」等のあいさつがされている
	7 機会があれば、ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい。



前期・後期の比較

番号	項目	肯定的			否定的			
		前期	後期	比較	前期	後期	比較	
1	1 学校の教育活動について	学校は、保護者に教育目標や教育方針を伝えている。	91.5%	92.6%	↑	6.1%	3.3%	↑
2		学校では、特色ある教育活動を進めている。(朝学習、縦割り班活動、体験活動など)	96.0%	94.7%	↓	2.7%	2.7%	⇒
3		学校は、生命を大切に心・思いやりの心や社会のルールを守る態度を育てている。	90.0%	94.4%	↑	7.9%	3.6%	↑
4		学校は、授業参観や学校開放等で、子どもの様子を見る機会を設けている。	98.8%	96.7%	↓	0.6%	2.4%	↓
5		学校、学年・学級からのお便り等で、学校の様子がよくわかる。	93.6%	92.3%	↓	5.2%	5.9%	↓
6		先生は、基礎基本の徹底や学習のつまづきなどに積極的に取り組んでいる。	87.2%	88.7%	↑	7.0%	6.5%	↑
7		先生は、保護者からの相談に適切に対応してくれる。	91.5%	93.8%	↑	2.7%	3.3%	↓
8		先生は、子どもの話をよく聞き、よく理解してくれる。	87.8%	90.8%	↑	4.6%	3.9%	↑
9	2 子どもの様子	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	92.1%	92.0%	⇒	6.4%	7.7%	↓
10		子どもは、友だちと仲良く生活している。	96.7%	97.0%	↑	1.8%	2.1%	⇒
11		子どもは、学校のことをよく話す。	87.8%	84.0%	↓	12.2%	15.7%	↓
12		子どもは、学習がわかり、基礎学力が身につけている。	83.6%	82.2%	↓	14.6%	16.0%	↓
13		子どもは、地域・家庭で進んであいさつをしている。	93.9%	92.0%	↓	5.8%	7.7%	↓
14	3 保護者御自身について	学校からの文書やお便りなどはよく読んでいます。	93.9%	92.0%	↓	5.8%	7.7%	↓
15		授業参観や学校行事には積極的に参加している。	95.7%	94.7%	↓	3.3%	4.7%	↓
16		子どものしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている。	88.8%	91.1%	↑	10.3%	8.3%	↑
17		子どものことで気になることがあれば、すぐに学校(担任等)に相談している。	83.9%	86.1%	↑	14.9%	12.5%	↑
18		子どもと学校のことなどについてよく会話をしている。	90.9%	90.8%	⇒	8.5%	8.6%	⇒
19		家庭内で「おはよう」「おやすみ」等のあいさつがされている	98.2%	98.5%	⇒	1.8%	1.5%	⇒
20		機会があれば、ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい。	77.2%	77.4%	⇒	16.1%	14.8%	↑

記号の見方・・・

↑ 向上

↓ 低下

⇒ 変化なし

*差が0.3%以下のものは、変化なしとしました。

《考察》 平成27年度 保護者アンケート2学期（後期）

1 アンケート全体より

- 1学期（前期）と数値的にはほぼ同じであり、肯定的な回答が80～90%を占めている。特に「学校の教育活動について」の項目全体に若干の伸びが見られ、保護者は学校教育に対しては理解を示してくれていると考えられる。肯定的な回答が80%を下回るものは1問のみである。

*肯定的な回答が80%未満の質問

3-7「機会があれば、ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい」……77.4%（前回77.2%）

2 学校の教育活動について

- 「そう思う・ほぼそう思う」の肯定的な回答で全8項目のうち5項目に伸びが見られた。向上したものについては、次のような理由が考えられる。

*学校だより、各学年・学級通信、学校メール等で学校の様子や方針をタイムリーに伝えていることが保護者に浸透している。

*朝学習の取り組みや日ごろの授業の中で、全国学力テスト、学力把握調査などの結果に基づいた基礎基本的学習事項の継続的な指導を重視したこと。ティームティーチングを重視し、個人の学びに対応した授業の充実が考えられる。

*保護者からの相談や子供の悩みに素早く対応したことや気になる児童宅に電話または訪問し、保護者との意思疎通があること。また、連絡帳、保護者との面談等、連携を密にしていることで、保護者と担任教師が協働的に児童の育ちに係われていることが考えられる。

3 子どもの様子について

- 5項目のうち3項目で低下傾向がみられた。

*2-3「子どもは学校のことをよく話す」の回答は前期の約88%から、84%に低下している。また、否定的な回答は逆に3%強増加していて、児童が学校のことを話す割合が低下しているという結果になった。

*2-4「子どもは、学習がわかり、基礎学力が身につけている」の回答も前項目と同様に肯定的が減り否定的が増えている。基礎学力についてはまだ身につけていないと感じている保護者の割合も他の項目と比較して高くなっている。2-5についても2-3,2-4と同様な結果で、「挨拶」はまだできていないと感じている保護者も多いことがわかる。

*2-1「学校に行くことが好き」、2-2「友だちと仲良くしている」はともに割合が高く、望ましい生活を送っている様子がうかがえる。

4 保護者自身について

- 7項目中2項目で肯定的回答があり、低下傾向が2項目、変化なしが3項目で、全体的には前期と大きな変化はない。詳細に見ていくと、「学校からのお便りを読む」や「授業参観への積極性」がやや低下、「子どものしつけ」や「学校への相談」の項目はともに3%ほど向上している。保護者の自覚による自己評価の向上が見られたとあってよいのではないかと。

*低下した「お便りを読む」や「授業参観への積極性」項目でも肯定的な意見がともに90%以上であり、よくできていると言えるのではないかと。

*3-7「ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい」は前期同様肯定的な意見が70%台にとどまっている。学校への支援状況を顧みても、共稼ぎ等の繁忙さにより、参加したくてもなかなか時間の確保が難しい状況があるようだ。

まとめ

- ① 学校が積極的に行っている情報公開や、学級や個々の学習面での課題に基づいた日々の取組、担任の児童への丁寧な対応について理解を示してもらっている。
- ② 「子どものしつけや生活習慣の育成状況」の評価に否定的な保護者もいる。これは逆に言えばもっと家庭でしつけをしなければいけないと自覚している結果とも取れる。家庭学習についてはだいぶ定着してきているので今後も組織的に取り組んでいくことで保護者と協力し合って児童の自主的な学習を支えていきたい。